

参加費無料
謝礼あり

認知症のご本人と家族が豊かに暮らせるように
今こそ、看護の力が求められています

潜在看護職のための

認知症 ケア 研修会

2024年度



東京慈恵会医科大学

調布市・国領キャンパス

2024年11月～2025年3月

看護師として培ってきた様々なスキルや技術を生かし
ご自分の生活や健康を大切にしながら、認知症の人と
ご家族のための多様な支援活動に貢献していきませんか。

＼知識のアップデート！／

e-ラーニング

認知症ケアの講義を
好きなときに・好きな場所で
視聴できます。

＼最先端の体験！／

VR体験

認知症のご本人とご家族の
世界を、最先端の機器を
使用して体験できます。

＼スキルアップ！／

施設見学

認知症カフェ等の見学を
通して、安心して暮らせる
地域について考えます。

他にも様々な企画あり！

応募要件

- ✓ 現在、常勤として就業していない看護師の方
- ✓ インターネットのWebサイトを閲覧できる方
- ✓ アンケートやインタビューにご協力いただける方

※ 上記全てに当てはまる方が対象です。年齢やお住まいの地区は問いません。

お申込はこさじ



研究代表者：東京慈恵会医科大学医学部看護学科 老年看護学 梶井文子
連絡先：kajii-kaken@jikei.ac.jp

2024年度 研究名：

コロナ禍後の認知症の人と家族への継続的支援を担う潜在看護職を活用した地域システムの創生
—潜在看護師への再教育プログラム実施評価（パイロットスタディ）—

★ 研究の詳細は、「研究参加者の募集のご案内」またはホームページをご覧ください → <https://cnspdf.jp/>



2024年10月7日

認知症の人と家族への支援に関心のある
現在、常勤で働いていない看護職の皆様

研究代表者
東京慈恵会医科大学医学部看護学科
老年看護学 教授 梶井 文子

研究参加者の募集のご案内

拝啓

時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。日頃より大変お世話になっております。

認知症の人とその家族への支援は、今後ますます地域での支援が重要となっていきます。住み慣れた地域で助け合える共生社会の実現のために、認知症ケアの研修を受講後に、私たちと一緒に地域の中で看護の力を生かしていきませんか。下記の内容をご覧ください、本研究への協力をお願い申し上げます。

敬具

—記—

- 研究課題名: コロナ禍後の認知症者と家族への継続的支援を担う潜在看護職を活用した地域システムの創生—潜在看護師への再教育プログラム実施評価 (パイロットスタディ)
(科学研究費等事業 基盤研究 C)
- 研究目的: COVID-19 の影響を受けた (以下、コロナ禍後) 認知症の人と家族に継続的支援を担う潜在看護師の再教育プログラム開発のために、潜在看護師への再教育プログラム受講していただき、潜在看護師と研修協力機関の双方のメリットやデメリット、潜在看護師の再教育プログラムの継続のための課題や改善点を明らかにすることです。
- 研究対象者: 自宅から再教育プログラムの (e-ラーニング教材等) の受講を希望する現在、常勤として就業していない看護師 (潜在看護師) の方です。一部の希望の方は、大学周辺地域 (調布市・狛江市等) での支援活動への見学・研修も受けられます。
- 研究方法: 再教育プログラムの各内容を受講後、各種のアンケート調査にご回答いただきます。
右のQRコードから、研究の趣旨 (再教育プログラムを含む) について HP 上でご説明をいたしますので、ぜひご覧ください。★募集締め切りは 11 月末まで
- 研究協力の謝礼等: 再教育プログラム受講費用や教材費は無料です。
e-ラーニング等の通信費用が発生するため、5000 円の謝礼をお渡しします。
別途、見学・研修への参加者は、交通費分として 5000 円の謝礼をお渡しします。
- 研究協力の任意性: 本研究への協力は任意のものです。後日、同意取得のための説明文書を用いてご説明してから同意の上で研究 (調査を含む) にご協力いただきます。
- 再教育プログラムの期間 (調査の時間を含む): 2024 年 11 月下旬~2025 年 3 月末
問い合わせ先: メール (kajii-kaken@jikei.ac.jp)



以上